

来月の消費予報

2月の消費控えがさらに色濃く、 3年連続で過去最低値を更新

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

2月の消費意欲指数は40.6点。前月比-7.9ポイント、前年比-0.9ポイントで、調査開始以来の最低値となりました。

2月の消費意欲指数



【前月比】

【前年比】

-7.9 ポイント

-0.9 ポイント

■：前月比/前年比で上昇 ■：前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(2月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリ別 消費意向

【前月比】

【前年比】



★ UP：前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN：前月比/前年比で20人以上減少

「来月(2月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

2月のポイント

Point 1：年末年始の反動が大きく、3年連続で過去最低値を更新

2月は1年の中で消費意欲指数が最も落ち込む月であり、2016年、2017年と連続して調査開始以来の最低値を記録してきましたが、今年も2017年をさらに0.9ポイント下回って、調査開始以来の最低値を更新しました(16年43.3点、17年41.5点、18年40.6点)。

消費意欲の理由(自由回答)を見ると、「意欲はあるが、今は様子見」という声(17年2月63件→18年2月89件)や「今月までに多く使ったのでセーブしたい」という声(17年2月196件→18年2月220件)が増加しています。17年12月は過去最高の消費意欲指数となったことや、前月も1月としては過去最低値となったことを鑑みると、年末年始の出費による買い控え意識が強まっている印象です。特に男性は、前年比-2.5ポイントとなる37.9点を記録し、調査開始以来初めて40点を下回りました(女性は前年比+0.8ポイント)。

Point 2：消費に消極的な層のさらなる冷え込みが、過去最低値更新に影響

消費意欲指数の理由として①消費に積極的な回答をした人(241人)、②消極的な回答をした人(1,071人)、③どちらでもない中間の回答(「今は様子見」「特になし」など)をした人(267人)に分けて点数の平均を算出すると、①の積極層の点数は前月からほぼ変化していない(17年2月:69.5点→18年2月:70.1点)のに対し、②の消極層(17年2月:34.8点→18年2月:33.0点)と③の中間層(17年2月:48.4点→18年2月:47.2点)の点数が前年に比べて冷え込んでいます。消費に消極的な層の更なる冷え込みが、過去最低値更新につながっているようです。

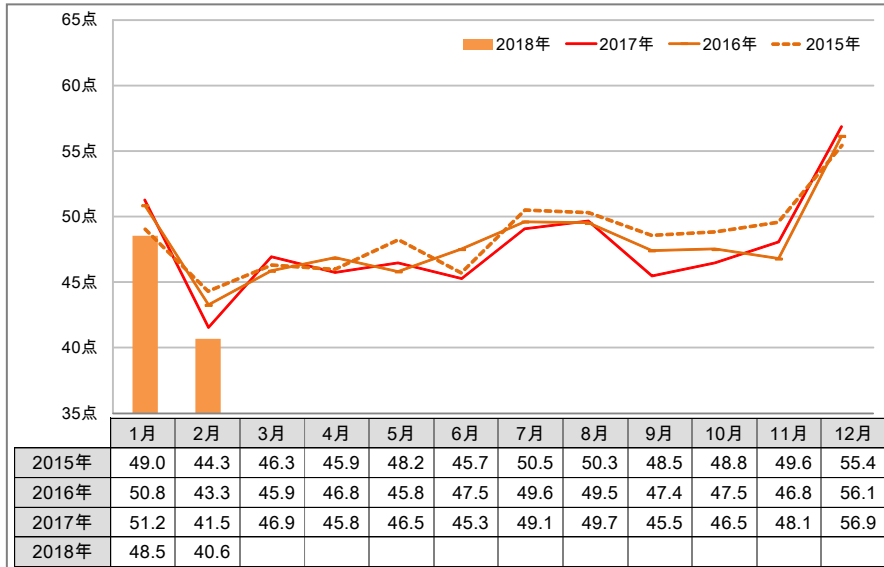
※①~③の回答者数の合計は、消費意欲の理由として一人の回答者が複数の回答を挙げている場合があるため、サンプル数(1,500人)と一致しません。

消費意欲指数

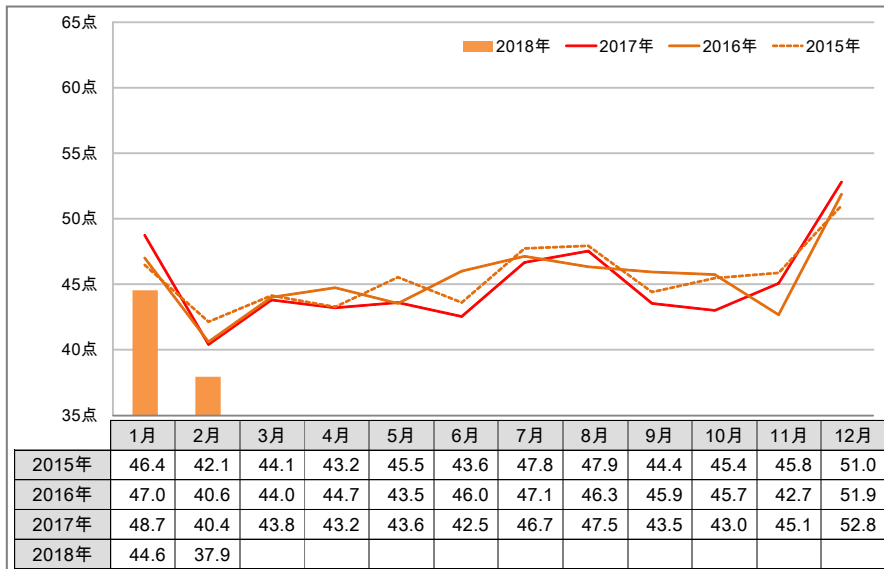
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(2月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

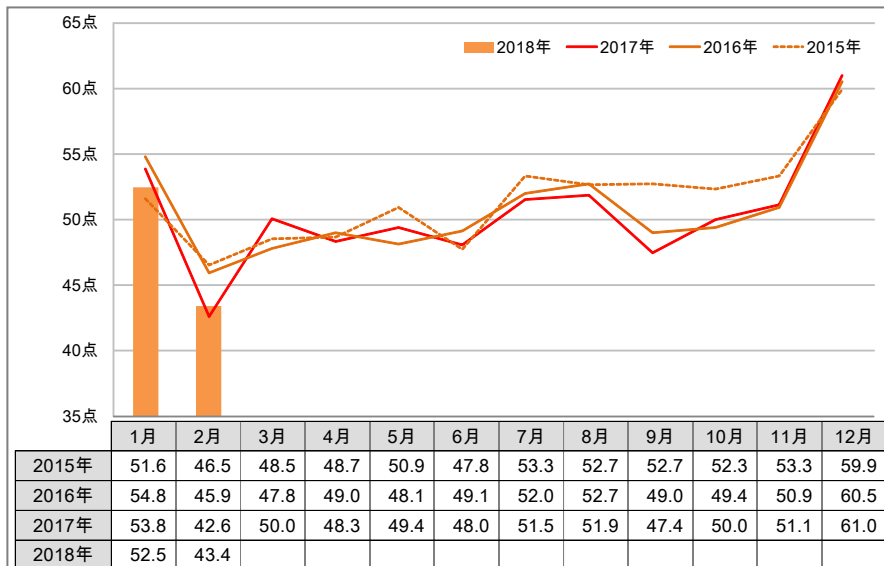
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【意欲はあるが、今は様子見】>

- ・セールがあれば買うが、だいたい終わってしまっているから(30点・男性28歳・東京都)
- ・欲しいものはなくはないが、散財してしまったから(5点・男性35歳・大阪府)
- ・欲しくても今はお金がないので、必要最低限のものだけ購入しようと思う(10点・男性46歳・大阪府)
- ・欲しくても金銭的に難しそうだから(20点・男性58歳・愛知県)
- ・欲しいものがあるが、悩んでいる(50点・男性62歳・東京都)
- ・物やサービスを買いたい気持ちもあるが、今はお金を貯めたい(30点・女性29歳・愛知県)
- ・特に今欲しいものはないが、今後欲しいものが出てくるかもしれないので(20点・女性34歳・埼玉県)
- ・欲しいものはあるけれど、もうバーゲンはほぼ終わってしまっている(40点・女性46歳・大阪府)
- ・いいものがあれば買いたいという程度で、買うかどうかわからない(10点・女性55歳・兵庫県)
- ・買いたい気持ちはあるが、価格と相談しながら決めたい(50点・女性68歳・大阪府)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(2月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2018年2月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	22.0	-7.3	+0.2
男性	20.5	-6.0	+1.6
女性	23.5	-8.5	-1.2

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(330人)

参考:男性(154人)

参考:女性(176人)

順位	カテゴリー	2月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	162	- 87	+ 5
2	外食	118	- 60	+ 9
3	旅行	115	- 36	+11
4	食品	111	- 59	-24
5	家電・AV	82	- 32	+ 9
6	書籍・エンタメ	78	- 22	+ 1
7	理美容	75	14	+14
8	化粧品	66	- 18	+ 2
9	レジャー	59	- 40	- 3
10	飲料	58	- 50	-20
11	日用品	54	- 25	+ 3
12	装飾品	48	- 18	±0
12	インテリア用品	48	- 13	+ 2
14	パソコン・タブレット・周辺機器	45	- 21	- 5
15	車・バイク	40	4	+15
16	スマートフォン・携帯電話	33	- 10	- 5

順位	カテゴリー	2月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	70	- 13	+16
2	家電・AV	54	- 11	+ 8
3	旅行	52	- 17	+ 9
4	書籍・エンタメ	51	- 10	+ 4
5	外食	49	- 26	+ 5
6	食品	38	- 31	-11
7	パソコン・タブレット・周辺機器	35	- 14	- 2
8	車・バイク	32	6	+ 9
8	レジャー	32	- 16	±0
10	飲料	25	- 27	-18
10	スマートフォン・携帯電話	25	- 1	- 1
12	装飾品	21	- 4	+ 3
12	日用品	21	- 5	+ 8
14	インテリア用品	19	2	+ 1
15	理美容	16	3	+ 5
16	化粧品	10	- 1	+ 3

順位	カテゴリー	2月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	92	- 74	-11
2	食品	73	- 28	-13
3	外食	69	- 34	+ 4
4	旅行	63	- 19	+ 2
5	理美容	59	+11	+ 9
6	化粧品	56	- 17	- 1
7	飲料	33	- 23	- 2
7	日用品	33	- 20	- 5
9	インテリア用品	29	- 15	+ 1
10	家電・AV	28	- 21	+ 1
11	装飾品	27	- 14	- 3
11	書籍・エンタメ	27	- 12	- 3
11	レジャー	27	- 24	- 3
14	パソコン・タブレット・周辺機器	10	- 7	- 3
15	スマートフォン・携帯電話	8	- 9	- 4
15	車・バイク	8	- 2	+ 6

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

<全体にのみ下記基準で色付け>

■ : 前月比/前年比で20人以上増加

■ : 前月比/前年比で20人以上減少

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(2月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(2月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	150	189	140	148	751
女性	121	147	185	138	158	749
合計	245	297	374	278	306	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2018年1月5日(金)～9日(火)(2012年4月から調査開始/毎月月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・酒井) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2018-02/>)からダウンロードしていただけます